

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 4 巻第 37 号

第 37 週 (9 月 6 日 ~ 9 月 12 日)

発行年月日:平成16年(2004年) 9月 17日
 発行 :滋賀県立衛生環境センター内
 滋賀県感染症情報センター
 電話 077-537-3051 FAX 077-534-3936

1) 全数報告の感染症 (1 類 ~ 5 類)

感染症類型	疾患名	報告数 (37週)	累積報告数		平成15年報告数	
			滋賀 (37週)	全国 (37週)	滋賀	全国 ^(*)
1 類 感染症	報告なし	0	0	0	0	0
2 類 感染症	細菌性赤痢	2	8	400	7	459
	腸チフス	0	1	49	0	60
3 類 感染症	腸管出血性大腸菌感染症	0	18	2805	8	2635
4 類 感染症	E型肝炎 ^(*)	0	1	20		
	オウム病	0	1	31	1	44
	ツツガムシ病	0	0	100	2	380
	デング熱	1	2	33	0	31
	マラリア	0	1	45	0	77
	レジオネラ症	0	0	97	1	143
5 類 感染症	アメーバ赤痢	0	6	408	3	504
	ウイルス性肝炎	0	2	202	3	634
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	115	3	115
	後天性免疫不全症候群	0	4	786	8	949
	ジアルジア症	0	1	59	0	99
	梅毒	0	2	349	2	493
	破傷風	0	2	63	1	69
	急性脳炎	0	0	49	0	98

* 1:平成15年報告数の全国報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています。
 * 2: " 感染症法の改正前のためE型肝炎のみの集計はされていません。

2) 定点把握の対象となる5類感染症

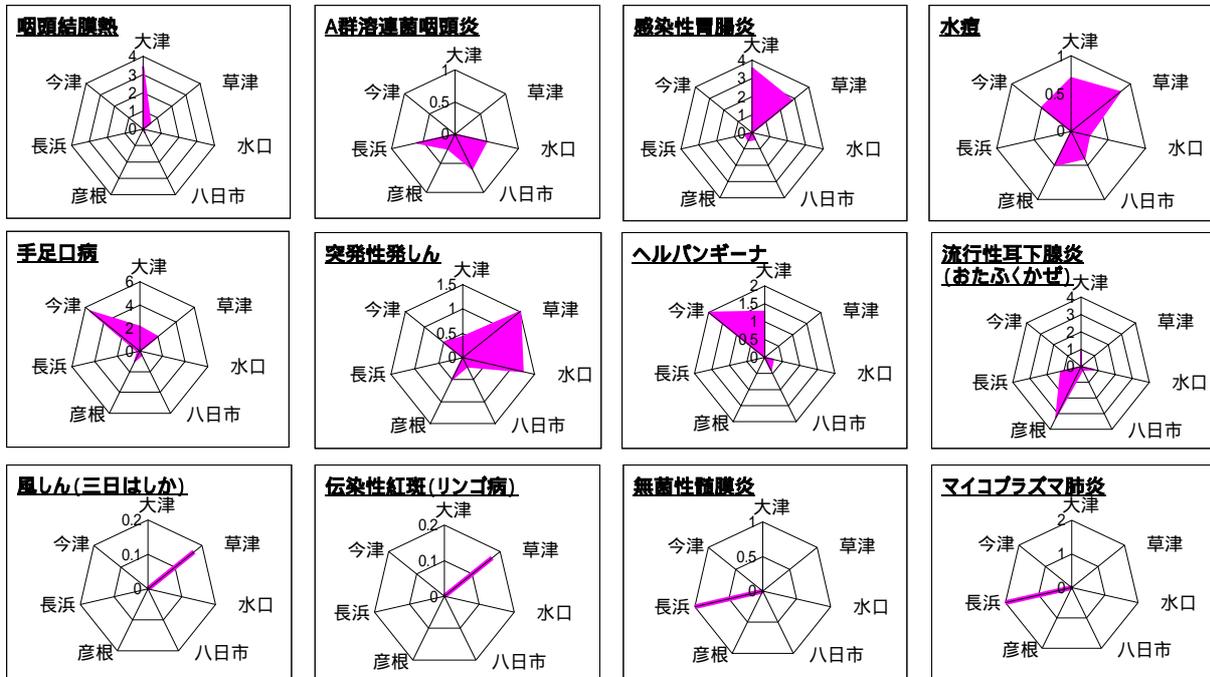
(1) 疾病別・週別発生状況

疾患名	定点当たり患者数 (前週より増加 前週と同じ 前週より減少)										
	32週						週				
	(8/2~)	(8/9~)	(8/16~)	(8/23~)	(8/30~)	(9/6~)	33	34	35	36	37
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0					
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0					
咽頭結膜熱	1.27	1.36	0.82	1.00	0.45	0.85					
A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	0.27	0.18	0.21	0.09	0.03	0.27					
感染性胃腸炎	1.70	1.55	0.88	1.30	1.12	1.45					
水痘	0.21	0.33	0.42	0.48	0.42	0.48					
手足口病	0.79	0.36	0.58	0.27	0.82	1.36					
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.06	0.12	0.06	0.12	0	0.03					
突発性発しん	0.67	0.52	0.88	0.82	0.91	0.64					
百日咳	0	0.09	0	0	0.06	0					
風しん(三日はしか)	0.03	0	0.03	0.06	0.03	0.03					
ヘルパンギーナ	1.30	0.61	0.70	0.67	0.33	0.48					
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0.03	0	0	0	0					
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.58	0.39	0.55	0.45	0.79	0.88					
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0.14	0					
流行性角結膜炎	0.14	0.43	0.29	0.14	0.14	0.14					
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0					
無菌性髄膜炎	0.57	0.14	0.29	0.29	0.57	0.14					
マイコプラズマ肺炎	0.14	0.43	0.29	0.29	0	0.29					
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0					
成人麻しん	0	0	0	0	0	0					

(2)疾病別・保健所管内別発生状況

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)							
	県	大津	草津	水口	八日市	彦根	長浜	今津
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
咽頭結膜熱	0.85	3.43	0.50	0	0.20	0	0	0
A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	0.27	0	0	0.50	0.60	0.25	0.60	0
感染性胃腸炎	1.45	3.57	2.83	0	0.40	0.50	0.40	0
水痘	0.48	0.71	0.83	0.25	0.40	0.50	0	0.50
手足口病	1.36	2.14	2.00	0	0.40	1.00	0.20	5.50
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.03	0	0.17	0	0	0	0	0
突発性発しん	0.64	0.43	1.50	1.25	0.20	0.50	0	0.50
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0
風しん(三日はしか)	0.03	0	0.17	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	0.48	1.29	0	0.25	0.40	0	0	2.00
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.88	0.86	0	0.75	0.20	3.25	1.20	0
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	0.14	0	0	0	0	1.00	0	0
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0
無菌性髄膜炎	0.14	0	0	0	0	0	1.00	0
マイコプラズマ肺炎	0.29	0	0	0	0	0	2.00	0
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0
成人麻しん	0	0	0	0	0	0	0	0

疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



今週の発生状況:

保健所管内別の定点当たり患者数についてみると、咽頭結膜熱は大津で多くっており感染性胃腸炎は大津および草津で多くなっています。また、手足口病は今津で多くしており流行性耳下腺炎は彦根で多くなっています。ヘルパンギーナは大津および今津で多くなっています。水痘および突発性発しんについては長浜保健所管内からの報告はありません。

上記のグラフ以外に流行性角結膜炎の発生が彦根保健所管内から報告されています。

- 全数報告感染症 -

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。これを全数報告の感染症といえます。

* 感染症法: 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律

- 定点当たり患者数 -

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。

* 疾患により定点数は異なります。

3) 今週のトピックス

手足口病、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)の発生に地域的な偏り 滋賀県における全数報告感染症の概要(平成16年第1週～第37週)

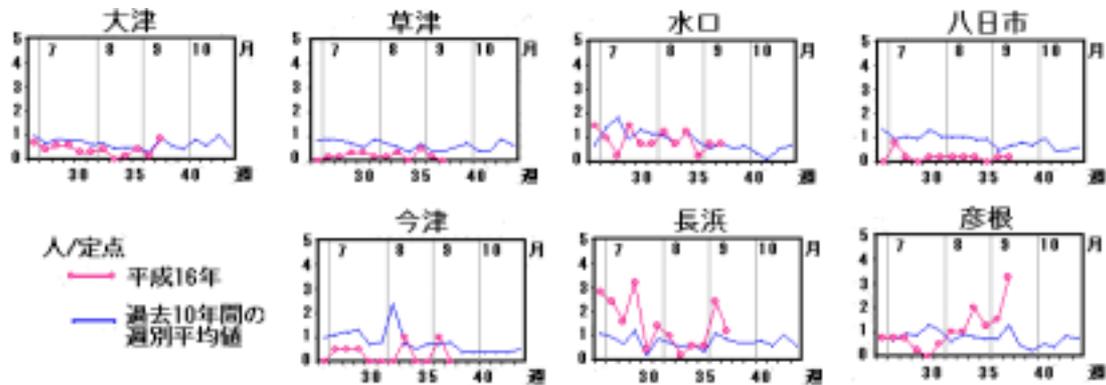
定点把握の対象となる5類感染症の発生状況は、第33週(8月9日～8月15日)以降減少傾向となっていた報告数が今週は4週間ぶりに増加しています。感染性胃腸炎、手足口病、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)、マイコプラズマ肺炎等で増加し突発性発しん、無菌性髄膜炎等で減少しています(詳細については、疾病別定点当たり患者数のグラフを参照)。

感染性胃腸炎については、昨年の同時期と同様の発生状況を示していますが第28週(7月5日～7月11日)以降は大津および草津保健所管内の定点当たり患者数が多くなっています。

手足口病については、定点当たり患者数は1.36と今年になって最も多くなっており、また、昨年の同時期の定点当たり患者数0.97よりも多くなっています。保健所管内別にみると**今津**保健所管内の定点当たり患者数が5.50と多くなっています。

流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)については、定点当たり患者数は先週より増加し0.88となり今週は**彦根**保健所管内の定点当たり患者数が3.25と多くなっています。また、先週に引き続き**長浜**保健所管内においても1.20とやや多くなっています。

流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)の保健所管内別発生状況(平成16年第37週、H16.9.6～H16.9.12)



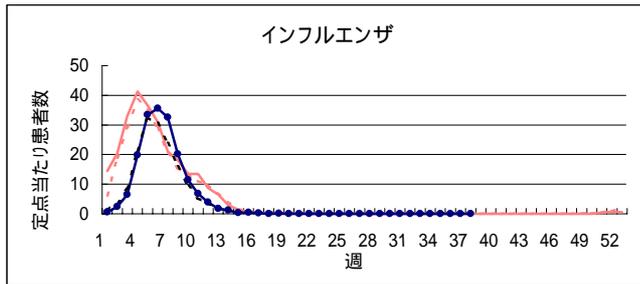
第37週の発生状況についてみると、彦根および長浜保健所管内の定点当たり患者数は過去10年間の週別平均値より多くなっています。その他の保健所管内の定点当たり患者数は同じまたは少なくなっています。

滋賀県における全数報告感染症の概要(平成16年第1週～第37週)

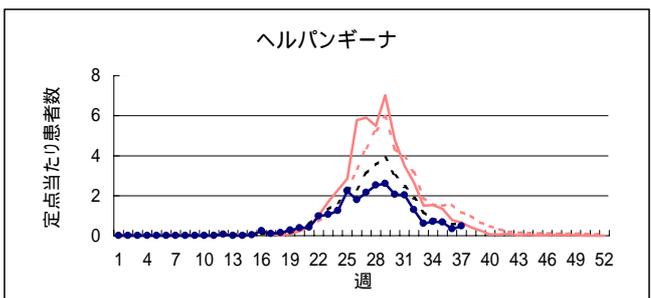
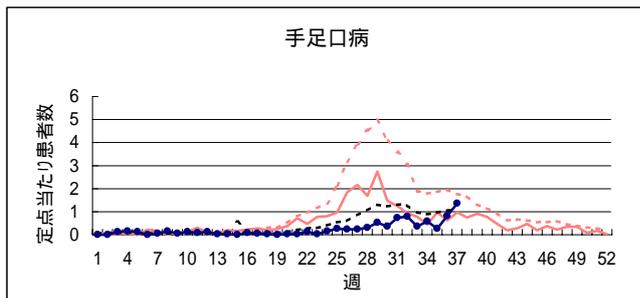
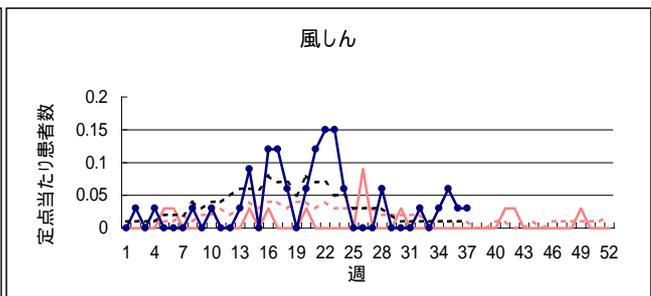
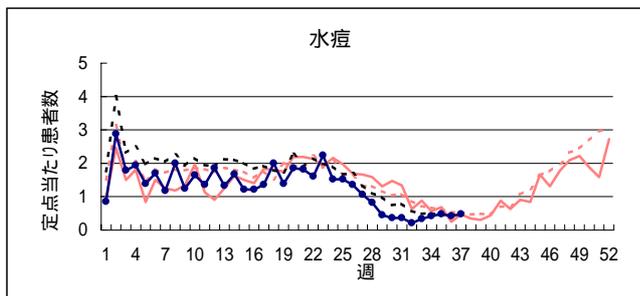
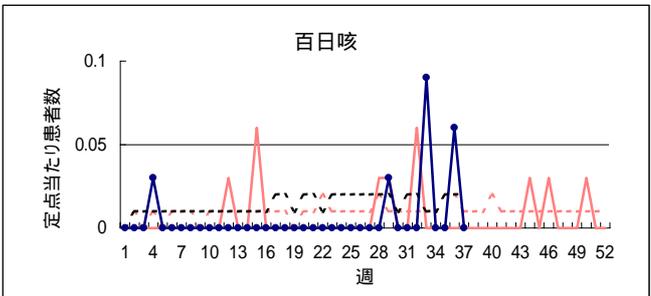
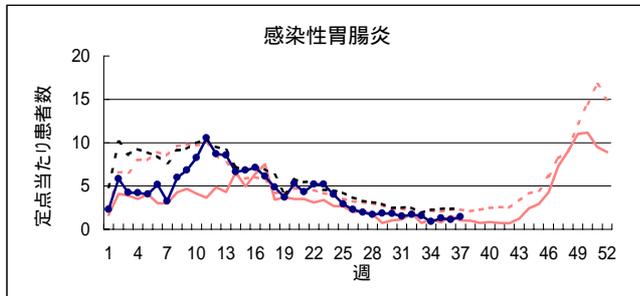
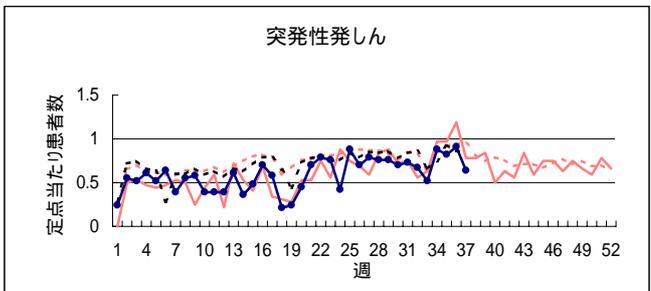
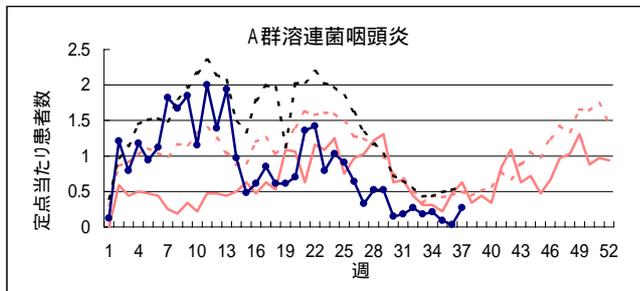
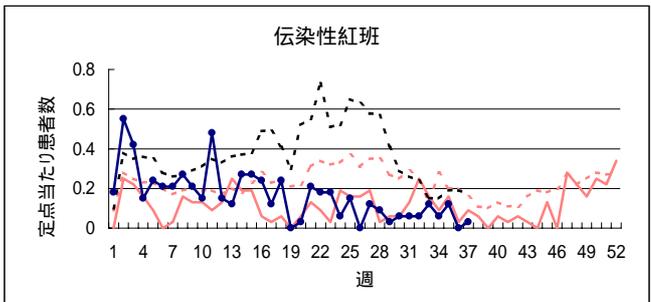
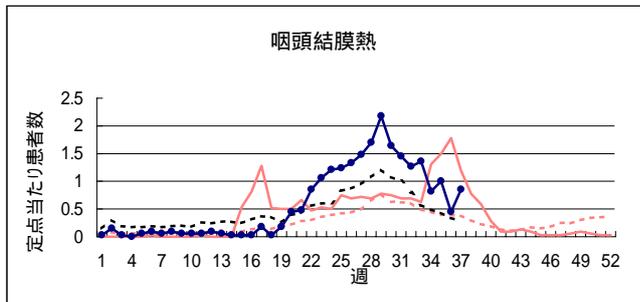
感染症類型	疾患名	1～32週の累積報告数	33～37週の報告年月日	概要
一類感染症	報告なし	0		
二類感染症	細菌性赤痢	6	H16.9.7	菌種:ソクネ 推定感染地域:インド 推定感染原因・感染経路:インドでの食事
			H16.9.10	菌種:ソクネ 推定感染地域:日本国内 推定感染原因・感染経路:不明
	腸チフス	1	報告なし	
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	15	H16.8.15	血清型:O157 産性毒素型:VT1(+)/VT2(+) 推定感染地域:日本国内 推定感染原因・感染経路:不明
			H16.8.27	血清型:O157 産性毒素型:VT1(+)/VT2(+) 推定感染地域:日本国内 推定感染原因・感染経路:不明
			H16.8.27	血清型:O157 産性毒素型:VT1(+)/VT2(+) 推定感染地域:日本国内 推定感染原因・感染経路:不明
				* VT1:ベロ毒素1型 VT2:ベロ毒素2型
四類感染症	E型肝炎	1	報告なし	
	オウム病	1	報告なし	
	デング熱		H16.9.3	推定感染地域:タイ 推定感染原因・感染経路:蚊
	マラリア		H16.9.11	推定感染地域:インドネシア 推定感染原因・感染経路:蚊
五類感染症	アメーバ赤痢	6	報告なし	
	ウイルス性肝炎	2	報告なし	
	後天性免疫不全症候群	4	報告なし	
	ジアルジア症	1	報告なし	
	梅毒	2	報告なし	
	破傷風	2	報告なし	

全国集計などの詳細な集計結果は、**国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ**(<http://idsc.nih.gov.jp/index-j.html>)において公表されています。

疾病別定点当たり患者数(平成16年第1週～第37週、H15.12.29～H16.9.12)



H15 〔 滋賀 (solid red line)
 全国 (dotted red line)
 H16 〔 滋賀 (solid blue line)
 全国 (dotted blue line)



疾病別定点当たり患者数(平成16年第1週～第37週、H15.12.29～H16.9.12)

H15 〔 滋賀 ———— 全国 〕
 H16 〔 滋賀 ●——● 全国 〕

